平成２９年度　第１回地区運営会議

日時：平成２９年６月７日１９：３０～２１：００

場所：刈谷市社会教育センター

Ⅰ　理事会報告

別紙参照

Ⅱ　県連盟内コミッショナー会議報告等

１．地区の事業方針等について

ラウンドテーブルの開催

本年度は３回開催とし、テーマは県連盟内コミッショナー会議に基づく。。

７月２日・１１月１９日・２月４日

昨年度までは８月を除き毎月ラウンドテーブルを開催してきたが、本年度は回数を減らし、指導者の時間的な負担を軽減するようにした。

これまでラウンドテーブルで事業（BVF・CSR・GBC・VSF・B-P 祭他）を協議してきたが、ラウンドテーブルは定型外訓練の一部として行う。事業については、必要に応じて別途打合せを行うようにする。

BVF：ビーバーフェスティバル　　CSR：カブラリー

GBC：グリンバーキャンプ　　VSF：ベンチャーフォーラム

２．定型訓練の終了者数と参加申込者予定数

（１）修了者

スカウトコース愛知第２期（VS）・・・１名

スカウトコース愛知第３期（BS）・・・１名

（２）参加申込予定者数

スカウトコース愛知４期・・・未定

スカウトコース愛知５期・・・未定

WB 実修所 CS 課程１６５期・・・３名

団委員実修所・・・０名

コミッショナー研修所・・・４名（該当者数）

３．夜間における活動について

平成２０年４月１日付で安田県連盟コミッショナー（当時）より書面により「夜間におけるスカウトの活動について」（別紙参照）出された。

昭和６１年に地区コミッショナーより発せられ、検討・協議され、決定されたもの、氏家県連盟コミッショナーは現在も有効であるとのこと。

碧海地区においても氏家県連盟コミッショナー同様、遵守していく。

４．その他

①セーフ・フロム・ハーム

９月２４日に団委員長を対象として説明会を開催する。

案内は別途発信される。

②進級課程の改定

７月１日の県連盟内コミッショナー会議と７月１１日のスカウト進歩委員

会で説明を行う。後に地区で展開してほしいとのこと。

③ランドテーブルへの参席

BS 部門のラウンドテーブルに中村県連副コミッショナーが参席する。どの回に参席するかは、別途調整する。

地区内の BS 全隊への隊訪問を１１月までに行う。日本連盟コミッショナーから全団のボーイスカウト隊への隊訪問を行うようにとのことで、県連盟として受けた。地区では担当コミッショナーが全隊への隊訪問を行う。日程については、それぞれに調整する。

④第３回愛知ベンチャースカウト大会

エントリーは６名あった。確定申込は６名だが、エントリーとは一部別のスカウトが申込をし、エントリーしたスカウトの一部が申込していない。

⑤ WEB チームの募集

WEB チームの募集をする。詳細は別紙参照のこと。

Ⅲ　委員会からの報告

１．組織拡充委員会

複数団から追加登録があった。

県連総会と総会後の団委員長研修会の案内がある。出席してほしい。

２．スカウト進歩委員会

菊スカウト取得者

安城１団・・・１名

技能章取得者

コンピューター章（１名）	環境衛生章（１名）
救急章（３名）	野営章（２名）
看護章（１名）	武道章（２名）

県連報告

無線通信技術修得研修会　　８月２７日・９月３日・１０月２８～２９日

地区事業

看護章講習会　７月８日

救急章講習会　１０月７～８日

VSF　　９月９～１０日（アフターフォーラム　１月２１日）

GBC　　１０月２８～２９日

上級スカウト顕彰　３月２４日

３．指導者トレーニング委員会

ボーイスカウト講習会

６月１１日　主任講師　斉藤茂美 LT　安城市で開催

２４名の参加申込

４．行事国際委員会

BVF と CSR を同日・同会場で開催する。

１０月２２日に開催するが、会場は未定。

５．総務委員会

県連年次総会が開催されるので、団から参加してほしい。

チャリティーゴルフ・チャリティーボーリングがあるので、本年度もお願いします。

Ⅲ　地区事業

１．コミッショナー

各委員会の担当コミッショナーについては、早急に連絡する。

２．委員会

行事国際委員会で、委員会には決定権はなく何らかの役を受けると団で対応して貰えないことがある。協議と決定は地区委員会で団委員長で行ってほしい、との意見があった。地区委員会では、確認と承認はするが、基本的に委員会で協議し決めれば良い。よほどの内容でなければ、地区委員会で修正することはあっても却下することはない。

３．行事

BVF・CSR・GBC・VSF などの地区事業は、行事国際委員会だけの事業ではなく碧海地区の事業なので、行事国際委員会だけでなく、他の委員会も開催へ向けた準備や当日の支援をしていく。

４．県連 WEB チーム

地区からは１名は推薦する。

５．HP へのアップ

各委員会の記録、資料は地区ホームページへアップするようにしていく。

一般社団法人日本ボーイスカウト愛知連盟　第６回理事会　報告

日時：平成２９年６月１日（木）
会場：ウィルあいち

１　地区副コミッショナー、団
担当コミッショナーについて
　各地区よりの推薦された副コミッショナー、団担当コミッショナーが承認された。
　最多１０人（尾張東地区）最小３人（尾張南）
２　平成２８年度事業報告と決算報告について

３　県連役員の選任について
　地区代表理事の変更
　郷司　朋昭（名古屋西部）小坂　元信（名古屋北斗）平野　嘉彦（尾張東）
　岡田　　一（豊田）
　学識経験者　池田　晃浩（ARC 議長）
４　平成２９年度事業計画と予算の修正について
　事業の変更：ソウル北部連盟キャンポリー刷毛の日程変更と会場の変更
　平成２９年８月４日（金）～８月１１日（金）⇒８月１日（火）～７日（月）
　大韓民国・江原道東海市（東海望祥海水浴場）
　　↓
　大韓民国・慶尚北道高霊郡大伽耶歴史テーマ観光キャンプ場

５　各種行事（奉仕活動）への協力について
　平成２９年度子どもアート万博⇒名古屋地域が協力
　平成３０年９月スペシャルオリンピック⇒開会式、閉会式への協力
６　運営委員会からの報告について
・指導者養成委員会
・行事国際委員会⇒３AV 地区別エントリー状況、目標参加人数２８１人に対し、１６７人
　碧海地区、２１人の目標に対し６人（エントリー率最低）
　フィルモント派遣の指導者育成について。⇒引率要件が非常に厳しくなってきた。

以上　文責：内藤吉文

平成28年度　一般社団法人日本ボーイスカウト愛知連盟 活動実績

平成29年6月1日

平成28年度　愛知連盟方針

スカウト訓育と指導者養成に向けたプログラムの策定、実行支援、評価、スカウトの称賛とフィードバックの流れを定着させ、このプロセスとサイクルを通じてスカウト一人ひとりの活躍の場の提供、モチベーションアップ、グローバル化の推進を図る。

平成28年度　目標

1．セーフフロムハーム「思いやりのこころを育む教育」の実施展開に取り組む。
2．富士スカウト章１４名以上の取得を目指して、スカウト全体のレベルアップを図る。
　ＶＳ　：富士スカウト章１４名を目指して、富士スカウトを育てその資的向上を図る。
　ＢＳ　：一人でも多くのボーイスカウトが菊スカウトに進級する。
　ＣＳ　：クリアー章を全員が取得し、チャレンジ章を５個以上取得する。
　「くまスカウト」は、月の輪訓練を活用して、全員ボーイ隊へ上進する。
　ＢＶＳ：幅広い体験を通じて小枝章を４本以上取得する。
3．育少年１００人に０．８人のスカウトを確保する。
4．すべての隊長は、当該の基礎訓練(研修所)を修了するとともに、上級訓練課程(実修所)へ３０名以上の参加を促進する。
5．災害支援の仕組みを明確にするとともに、他団体や地域との連携強化を図る。

平成28年度　重点施策

1．「第２回東海４県合同野営大会（２ＴＣ)」成功に向けて準備訓練等により十分な成果が得られるように図る。
　また、海外スカウトのホームスティ受け入れ等により、グローバル化を推進する。
2．スカウトの進歩促進をし、スカウト一人ひとりが、達成感や満足度を実感できる活躍の場を提供する。
　また、スカウトフォーラムで採択されたベンチャー大会の開催準備に着手する。
3．空白地域における新規団発足の支援をする。
4．指導者の資質向上のため、各種訓練機関(ＢＳ講習会、ＷＢ研修所、団委員研修所、安全セミナー、ＷＢ実修所ＰＴ(ＶＳ課程)団委員実修所ＭＴ)を開設する。
5．防災ボランティア・コーディネーターの養成を図るとともに、危機管理体制の充実強化を図る。
6．特別維持会員の増強とＲＳ対象の企業展を開催する。

行事計画と役割

行事・会議	各会議・委員会の機能	メンバー	活動内容	年間予定（○・◇は実施予定日、☆は実施評価） 4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
◆ セーフフロムハームの展開			■セーフフロムハームの実施展開		◇準備計画					◆21			◆eラーニング		
① 総　会	愛知連盟の最高議決機関。 年度事業報告・決算の承認の場	加盟団	次の６項における承認決議 ①事業報告及び決算、②役員の選任、③加盟団分担金の金額及び徴収方法、④定款の変更、⑤理事会において総会の付議した事項、⑥その他の重要事項			●19									
② 理 事 会	年度事業計画の決定・確認・周知徹底 連盟活動に関する重要事項の決定	理事長、副理事長、 地区代表理事、 学識経験者理事、 県連盟ｺﾐｯｼｮﾅｰ	県連盟の運営に係る諸課題に対して対応策を決定し、それを周知徹底する。			●10 ●19			●7		●10		●23		●22
③ 常任理事会	方針・計画のとりまとめと予算配分 各地区・団活動の推進・サポート	理事長、副理事長、 地区代表理事4名、 運営委員会委員長5名、 県連盟ｺﾐｯｼｮﾅｰ	県連の基本方針・予算配分の大枠決定 県連コミッショナー、委員会等からの報告を通じて各地区の活動状況からの課題対応を審議					●30		●3		●21		●27	
④ 運営委員会 ④-1 組織・拡充委員会	スカウト組織とその拡充及び広報に関する企画	委員長（理事） 副委員長 委員１４名（各地区の組織拡充委員会委員長）＋委員数名（ウェブ担当者）	●委員会		●11		●13		●14		●9		●11		●8
			①「スカウトあいち」の製作	◆224号	取材		◆225号	取材		◆226号	取材		◆227号	取材	
			②県連盟ホームページの運営		◇計画										★
			③「図画・写真コンテスト」の実施		◇計画								◆表彰17		★
			④組織・拡充に関する研修の実施		◇計画	◆19							◆22		★
			⑤募集ツールの製作		◇計画		◆ポスター								★
			⑥一般児童を対象とした募集事業		◇計画						◆3・13		★		
			⑦空白地域における新規団発足の支援		◇計画										★
④ 運営委員会 ④-2 スカウト進歩委員会	スカウト各人の進歩状況の把握と進歩に向けたプログラム活動の企画	委員長（理事） 副委員長 委員１４名（各地区のスカウト進歩委員会委員長）	●委員会		●10		●12		●13		●8		●10		●7
			①科学技術関係技能章講習会開催		◇計画							◆10-11	★		
			②部門活動事例研究会				◇計画						◆29		★
			③「愛知スカウトフォーラム」の実施	◇計画		準備委員会			◆29-30					★	
			④富士スカウト顕彰						◇準備委員会						◆12
④ 運営委員会 ④-3 指導者養成委員会	指導者の育成を図るプログラム企画と場づくり	委員長（理事） 副委員長 委員１４名（各地区の指導者養成委員会委員長）	●委員会		●11		●13		●14		●9		●11		●8
			①導入訓練の開設　BS講習会	2回	2回	3回	1回		3回	1回	2回		1回	1回	2回
			②基礎訓練の開設 WB研修所/団委員研修所	◆CS,BS	◆VS		×団	☆中間評価	◆BS,×VS		◆団	★			
			③安全セミナー開設			◆12	◆24	☆中間評価			◆20	◆11	★		
			④上級訓練の開設 WB実修所、団委員実修所						◆MT	◆PT		★			
			⑤WB研修所試行コースの開設						中間評価		◆3～6	★			
④ 運営委員会 ④-4 行事・国際委員会	野営及び国際行事関係に係る対応施策の企画	委員長（理事） 副委員長 委員１４名（各地区の行事・国際委員会委員長）	●委員会		●20		●15		●16		●18		●20		●17
			①第2回東海4県連盟合同野営大会の開催			●26隊長会議		◆5-10実施			★				
			②緑の羽根募金と緑化推進活動	募金							◆どんぐり交流会13		★		
			③韓国ソウル北部連盟との友好提供事業の推進	◆RS除化プロジェクト8-10		◆総会受け入れ		◆ホームスティ				◆送年会７		◆総会８	★
			④フィルモント派遣の実施	準備訓練				◆実施					★		
			⑤新城吉川野営場の利用促進		◇計画										★
			⑥CJKベンチャープロジェクト等の受け入れ					◆8-19	★						
			⑦「ローバーの集い」への支援						◇準備委員会						◆18-20
④ 運営委員会 ④-5 総務委員会	県連盟の財政確保と行政対応等 他の委員会に属さない事項への対応	委員長（理事） 副委員長 委員１４名（各地区の総務委員会委員長）	●委員会		●18		●20		●21		●16		●18		●15
			①防災ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ養成講座の実施	◇計画			◆実施講座10				◆防災フォーラム13		★		
			②危機管理体制の充実強化		◇危機管理体制チェック		◆安全促進フォーラム3								★
			③ゴルフ大会・ボウリング大会の開催と財政の安定化				◇計画			◆ｺﾞﾙﾌ大会22			◆ﾎﾞｳﾘﾝｸﾞ15		★
			④特別維持会員の増強とリクルート懇談会の開催		◇計画									◆7	★
			⑤スカウト用品の販売促進		◇計画	◆19・26	◆2・18				◆27		◆28	◆19	◆12 ★
⑤県連盟内コミッショナー会議	県連活動の実行評価、課題把握、常任理事会への意見具申	県連盟ｺﾐｯｼｮﾅｰ 県連盟副ｺﾐｯｼｮﾅｰ 地区ｺﾐｯｼｮﾅｰ	各地区からの活動状況ヒアリング 活動課題の明確化	●6		●1	●2			●5		●7	●28-29		
⑥地区運営会議	地区活動全体の実行運営機関	地区ｺﾐｯｼｮﾅｰ 地区委員長、 地区役員	団・隊の活動実績・フォロー、問題点把握。 地区での解決できる課題を対応		○		○		○		○		○		○

平成29年度　一般社団法人日本ボーイスカウト愛知連盟 活動計画

平成29年6月1日

平成29年度　愛知連盟方針

スカウト訓育と指導者養成に向けたプログラムの策定、実行支援、評価、スカウトの称賛とフィードバックの流れを定着させ、このプロセスとサイクルを通じてスカウト一人ひとりの活躍の場の提供、モチベーションアップ、グローバル化の推進を図る。

平成29年度　事業スローガン

活動的で自立したスカウトを育てよう！！

平成29年度　目標

1　青少年１００人に０．８人のスカウトを確保する。

2　すべてのスカウトを進級させる。

3　スカウトに充実した訓練を提供できるように、全ての隊長、団委員長に当該基礎訓練を修了させ、上級訓練課程へ２０名以上の参加を促進する。

4　上記の目標を達成するために、県連、地区、団が連携し、一体となって事業を推進する。

平成29年度　重点施策

1　スカウト活動がより安全・安心に行われるようにセミナーを実施し、「セーフ・フロム・ハーム」の普及を推進する。
2　日本連盟の新・広報戦略と連携して「ボーイスカウトの魅力」を発信して、愛知連盟の広報活動を充実させる。
3　スカウトにより良い訓練環境を提供するために、成人指導者に各種研修の機会を提供し支援する。

平成29年度　一般施策（案）

1　第３回愛知ベンチャースカウト大会（３ＡＶ）を開催し、隼進級プログラムが達成できる場を提供する。
2　団や地区のホームページの作成の支援を行う。
3　新進級課程移行に向けた支援を行う。
4　韓国ソウル北部連盟野営大会派遣等により、活動のグローバル化を推進する。
5　ボーイスカウト学生と企業とのリクルート懇談会を開催し、ローバー年代の就職を支援する。

行事計画と役割

行事・会議	各会議・委員会の機能	メンバー	活動内容	年間予定（○・◇は実施予定日、☆は実施評価） 4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
① 総　会	愛知連盟の最高議決機関 年度事業報告・決算の承認の場	加盟団	次の６項における承認決議 ①事業報告及び決算、②役員の選任、③加盟団分担金の金額及び徴収方法、④定款の変更、⑤理事会において総会の付議した事項、⑥その他の重要事項			○25									
② 理 事 会	年度事業計画の決定・確認・周知徹底 連盟活動に関する重要事項の決定	理事長、副理事長、 地区代表理事、 学識経験者理事、 県連盟コミッショナー	県連盟の運営に係る諸課題に対して対応策を決定し、それを周知徹底する。			○1 ○25			○		○		○		○
③ 常任理事会	方針・計画のとりまとめと予算配分 各地区・団活動の推進・サポート	理事長、副理事長、 地区代表理事4名、 運営委員会委員長5名、 県連盟コミッショナー	県連の基本方針・予算配分の大枠決定 県連盟コミッショナー、委員会等からの報告を通じて各地区の活動状況からの課題対応を審議		○24			○		○		○		○	
④ 運営委員会 ④-1 組織・拡充委員会	スカウト組織とその拡充及び広報に関する企画	委員長（理事） 副委員長 委員１４名（各地区の組織拡充委員会委員長）＋委員数名（ウェブ担当者）	●委員会		○10		○12		○13		○8		○10		○14
			①日本連盟新・広報戦略に対する連携		◇計画			◇実施			◇実施	☆			
			②「スカウトあいち」の製作	◇ 228号	取材		◇ 229号	取材		◇ 230号	取材		◇☆ 231号	取材	
			③県連ホームページ運営と改定		◇計画										☆
			④団や地区のホームページ作成の支援		◇計画										☆
			⑤「図画・写真コンテスト」の実施と表彰		◇計画								◇表彰14		☆
			⑥組織・拡充に関する研修の実施		◇計画										☆
			⑦募集ツールの製作		◇計画										☆
			⑧一般児童を対象とした募集事業の開催		◇計画			◇実施			◇実施	☆			
			⑨空白地域における新規団発足の支援		◇計画										☆
④-2 スカウト進歩委員会	スカウト各人の進歩状況の把握と進歩に向けたプログラム活動の企画	委員長（理事） 副委員長 委員１４名（各地区のスカウト進歩委員会委員長）	●委員会		○9		○11		○12		○14		910		○13
			①3AVを活用した隼進級プログラムの実施		◇計画			◇実施							☆
			②科学技術関係技能章講習会（無線通信）の開催		◇計画			◇27	◇3	◇28-29	☆				
			③新進級課程研究会の開催				◇11								☆
			④「アフターフォーラム」の実施	◇計画	○14						→	→	→	→	☆
			⑤富士スカウト顕彰と知事表敬の実施						◇準備委員会 →					→	◇18
④-3 指導者養成委員会	指導者の育成を図るプログラム企画と場づくり	委員長（理事） 副委員長 委員１４名（各地区の指導者養成委員会委員長）	●委員会		○10		○12		○13		○8		○10		○14
			①導入訓練（ボーイスカウト講習会）の開設	2回	2回	3回	1回		2回	1回	3回			2回	1回
			②基礎訓練（WB研修所/団委員研修所）の開設		◇3回		☆中間評価		○1回	○1回	☆				
			③コミッショナー研修所の開設								◇3-5		☆		
			④上級訓練（WB実修所）の開設							◇PT		☆			
			⑤指導者の意識や現況について調査・分析		◇計画										☆
④-4 行事・国際委員会	野営及び国際行事関係に係る対応施策の企画	委員長（理事） 副委員長 委員１４名（各地区の行事・国際委員会委員長）	●委員会		○19		○21		○15		○17		○19		○16
			①第3回愛知ベンチャースカウト大会の開催					◇8-13		☆					
			②緑の募金と緑化推進活動	募金 →							◇どんぐり交流会12		☆		
			③韓国ソウル北部連盟との友好提供事業の推進	◇BS緑化ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 7-9		◇総会受入れ	◇結団式 23	◇野営大会 1-7				◇送年会		◇総会	☆
			④第17回日本スカウトジャンボリーへの参加準備			実行委員会 →				◇予定申込			◇参加隊の決定 →		◇確定申込
			⑤新城吉川野営場の利用促進		◇計画	◇3-4視察									☆
			⑥「スカウトの日」の実施						◇18		☆				
			⑦「ローバーの集い」への支援					◇準備委員会 →							◇下旬
④-5 総務委員会	県連盟の財政確保と行政対応等他の委員会に属さない事項への対応	委員長（理事） 副委員長 委員１４名（各地区の総務委員会委員長）	●委員会		○17		○19		○20		○15		○10		○14
			①「セーフ・フロム・ハームセミナー」の実施		◇計画				◇24				☆		
			②防災ボランティアコーディネーター養成講座などの実施		◇計画		◇実成講座9				◇防災ﾌｫｰﾗﾑ 12		☆		
			③危機管理体制の充実と連携の強化		◇危機管理体制チェック									◇連携	☆
			④ゴルフ大会・ボウリング大会の開催				◇計画			◇ｺﾞﾙﾌ大会25			◇ﾎﾞｳﾘﾝｸﾞ13		☆
			⑤BS学生と企業とのリクルート懇談会の開催		◇計画									◇上旬	☆
			⑥維持会員増加の推進とスカウト用品の販売促進		◇計画 →	◇ →		◇ →	☆						☆
			⑦常滑高坂野営場の利活用			◇登記		◇利活用 →						→	☆
⑤県連盟内コミッショナー会議	県連活動の実行評価、課題把握 常任理事会への意見具申	県連盟コミッショナー 県連盟副コミッショナー 地区コミッショナー	①県連盟内コミッショナー会議の開催 （各地区からの活動状況ヒアリング等）	○5		○5	○1			○2		○6	○ 27-28		
			②トレーニングチーム研究集会等の開催	◇野営法							◇11-12			◇日連25	◇4
⑥地区運営会議	地区活動全体の実行運営機関	地区コミッショナー 地区委員長・地区役員	団・隊の活動実績・フォロー、問題点把握。 地区での解決できる課題を対応		○		○		○		○		○		○

平成２０年４月１日

各地区コミッショナー　　様

日本ボーイスカウト愛知連盟
県連盟コミッショナー　安　田　武　司
（　公　印　省　略　）

夜間におけるスカウトの活動について

日頃は、スカウト活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、夜間におけるスカウトの活動については、これまでにも、色々なご意見があり、その取扱いについては、苦慮されていることと思います。

つきましては、愛知連盟としては、下記の内容を遵守し、スカウト活動を展開することとしたいので、各部門の隊長をご指導いただくようお願いいたします。

記

１．ビーバースカウト

○宿泊を伴う活動について

ビーバー部門については、宿泊を伴う活動は行わない。なお、特別隊集会（例えばカブ隊のキャンプ見学等）において、保護者とともに民宿やホテルなどに宿泊することについては、問題はない。

○夜間の活動について

原則として、日没後（日の出前まで）の活動は行わない。やむを得ず、日没後の活動を行う場合には、保護者同伴とされたい。

２．カブスカウト

○キャンプについて

キャンプを行う場合は、舎営とする。

○夜間の活動について

例えば「星の観察」や「ホタルの観察」など、夜間でなければ行うことができない活動を除いては好ましくない。その場合においても、午後９時までには自宅へ帰れる（キャンプにおいては、宿営地に帰営する）ことができるプログラムを計画する。

３．ボーイスカウト

○キャンプについて

キャンプを行う場合は、野営で行うが固定キャンプとし、宿営地の移動を伴ういわゆる移動キャンプは行わない。

○夜間の活動について

例えば「キャンプファイアー」や「夜間ゲーム（くもの糸、五感ゲーム）」などの活動は、部門の特長として奨励されるべきである。しかし、この年代（小学５年生から中学生）の青少年の健全な成長を考慮すれば、夜を徹してあるいは深夜に及ぶ活動（ハイキング等）は厳に慎むべきであり午後１０時までには自宅へ帰れる（キャンプにおいては、宿営地に帰営する）ことができるプログラムを計画する。計画にあたっては、プログラムを実施する目的、保護者の同意と理解及び時期、場所等の条件を十分考慮する。

○（捕捉）いわゆるオーバーナイトハイクについて

昭和６１年に起きたスカウトの死亡事故を契機として、当時の地区コミッショナーで深夜に及ぶ活動を禁止する取り決めをしており、今後もこれを尊重するものである。

４．ベンチャースカウト

○キャンプ等について

移動キャンプが実施されることが、活動の特長と言えるが、この場合においても午後１０時～夜明けまでの間は、ビバーグ等により、移動を行わないプログラムとする。また、宿営地については、計画書等により当該隊長が所在を確認でき、急施の事情によりそれが変更となる場合には、必ず隊長へ連絡することを義務付けるとともに、連絡方法について確認した上で、プログラム実施を承認する。

○夜間の活動について

その活動が多岐にわたることから、一概に是非を判断することは難しいが、ボーイ部門に準じた帰宅、帰営を指導するとともに、プログラム展開上の必要性、保護者の同意と理解及び時期、場所等の条件を考慮した上で、プログラムの承認をするとともに、プログラムの遵守を徹底することとする。

５．各部門共通

○法令順守等について

各種の法律はもとより、愛知県には、「愛知県青少年健全育成条例」がある。ボーイスカウト愛知連盟としては、その趣旨をよく理解し、法令遵守は当然のことながら、青少年の健全な育成を目指すボーイスカウト運動の目的を踏まえた活動を提供、指導することとする。

※　愛知県青少年健全育成条例第１７条は、青少年の深夜外出等における注意義務を規定している。スカウト活動における夜間の活動が、直ちにこれに抵触するとはいえないが、青少年の健全な成長を阻害するおそれのある行為、また、犯罪等にまきこまれるおそれのある行為については、法令以前に自ら慎むことが重要であることを周知する。

○安全管理について

全ての活動について、スカウトの安全は第一に確保されなければならない。夜間においては、昼間に比べ、その危険度合いが高いことは言うまでもない。従って、プログラム計画時において、安全計画が文書（ボーイ部門以下については隊長が作成、ベンチャー部門については隊長の承認が必要）で明確化されるとともに、プログラム実施時においては、計画の遵守とその年代に応じたスカウトへの安全教育及びスカウト自身による安全対策並びに指導者をはじめとする成人による十分な安全管理が確保されていなければ、全てのプログラムを実施することはできない。

以　上